

※「はらまち九条の会」ホームページ <http://www.haramachi9jo.net>

※「はらまち九条の会」は会員405名。超党派で会員を募集中です。年会費千円。

＜新成人への配布号＞

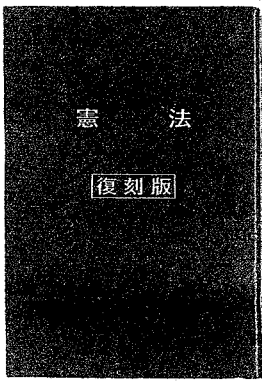
九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No. 122

2010(平成22)年1月10日(日)発行



成人 おめでとございます！ この機会に『憲法』をどうぞ！



〇成人を迎えられたみなさん、私たちの生活を守ってくれている「憲法」を読んでみましょう。日本国憲法は戦争の反省と長い人類の歴史的叡知から生まれました。特に「**憲法第9条(戦争の放棄・戦力及び交戦権の否認)**」はこれからの人類の在り方として世界各国から高い評価を得て、国際平和のお手本になっています。〇21世紀はもう戦争の時代ではありません。1999年ハーグ市民平和会議でも「日本の第9条を見なさい、各国議会は自国政府に戦争をさせない決議をすべきである」という文書が採択されています。

▲今日皆さんにプレゼントされた『憲法』小冊子は、39年前の1971(昭和46)年に旧原町市が公費で発行し、当時の原町市の全家庭12,000戸に配布したものの復刻版です。



世界は憲法9条をえらび始めた あなたは9条を変えて戦争に行きますか？

——— はらまち九条の会

◀—昨年2008年8月15日の終戦記念日に、原町区錦町の県道沿い、ココスさんの向かい側に建てられた“憲法第9条を守ろう”の看板。多くの市民からのカンパで建てられました。

戦争と平和のことば

◆「戦争は絶対によいです。今、日本は世界有数の軍事費を使い、戦争への道を進もうとしています。武器ではなく、憲法9条こそが、私たちを守ってくれます。」吉永小百合



◆「この9条のおかげで、日本は戦争で誰ひとり殺しもしなかったし、殺されもしなかったのです。人の命よりも大事な国家などないのです。」……ピーコ



◆「私は原爆にあっている人間ですし、戦前、戦後の両方の時代を知っています。戦後とにかくよかったのは「戦争を放棄します」ということでした。9条を改悪する必要などありません。正義の戦争なんてありませんのですよ。みんな悲惨な戦争の正体を知らなすぎます。」……美輪明宏

◆「いまでは信じられないことですが、昭和20年の日本人男性の平均寿命は23.9歳でした。戦地では兵士が、内地では空襲で焼かれ、病気になれば薬がない、幼児は栄養失調で死んで、大勢が若死にしたのです。女性の平均寿命も37.5歳だったはずですよ。ところが、あの8月15日を境になにもかも変わった。憲法で日本は二度と武器では戦わない、と。」……井上ひさし



◆「母(海老名香葉子)は戦災孤児です。東京大空襲でたった一人の兄以外、家族はみんな亡くなりました。遺骨が見つからず、お墓もない。落語で笑っていただきながら、母からの平和のバトンをつないでいくのが私の立場です。」林家正蔵

◆「改憲したら日本人はすぐに踏み外す。僕らの「9条の会」の運動は、考えつめた老人たちの大勝負なんです。」……大江健三郎

◆「憲法九条は子どもたちに残してやれる最大の財産です。平和と平等は根っここのところにつながっています。それは他人に対する愛情です。」森永卓郎



◆「戦争放棄をうたった日本国憲法は世界に誇れるものです。」ビートたけし

◆「あなたの剣を、もとの所におさめなさい。剣をとる者はみな、剣で滅びる。」『聖書』

スポーツや趣味を楽しめ、成人式ができるのも平和だから...

憲法は身近な生活の中で生きています!

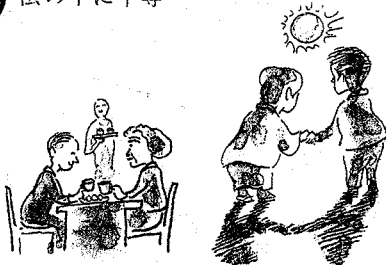
日本の戦後64年の平和と繁栄は、この憲法第9条（戦争の放棄）のおかげです。それだけでなく、日本人の誕生から年老いて死を迎えるまで、実は「憲法」が私たちの生活のすべての面を支えてくれ、身近な生活の中で生きています。成人の日のこの機会に、「憲法」をもう一度読んでみたいものです。

誕生とともに



第13条 個人として尊重される

第14条 法の下に平等



第25条

健康で文化的な生活を営む権利を有し、国は社会福祉、社会保障の向上や増進に努める

第9条

戦争の放棄、
戦力及び交戦権の否認



(イラスト・朝倉悠三さん)

第二章 戦争の放棄

【戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認】

第九条① 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

平和とは、戦争がない状態にとどまらず、一人ひとりの命が脅かされずに衣食住が確保でき、人種や性別で差別されないことです。貧困、飢餓、抑圧や差別のない社会で、憲法9条(戦争の放棄・戦力の不保持・交戦権の否認)と、14条(法の下に平等)、24条(個人の尊厳・両性の平等)、25条(生存権・国の社会保障の義務)などと結びついています。それらがテーマの映画が完成しました。

大澤豊監督・劇映画「日本の青空Ⅱ・いのちの山河」

■豪雪・多病・貧困を抱えていた岩手県の山間の小さな村・沢内村は、長く無医村でしたが、村長の深澤晟雄(ふかさわまさお)は、「国がやらないから村がやる」と決意し憲法25条を盾に、1960(昭和35)年全国初の老人・乳児医療無料化を実施します。やがて全国でも最悪の乳児死亡率だった村が、全国初の乳児死亡“ゼロ”という記録を生みだします。■キャスト・長谷川初範、とよた真帆、加藤剛、大鶴義丹、宍戸開。

○3月7日(日)

○原町区

朝日座で上映

<県内で最初の公開>



拉致問題解決は「制裁」よりも「対話」で!

連池透さん講演会

○4月24日(土)二時~四時
○原町区サンライズ南相馬

- 「九条(きゅうじょう)の会」は、全国に7,500、県内でも100以上の組織ができています。
- 「はらまち九条の会」は、5年前の2005年12月に結成され、憲法第9条を守り「戦争をしない国・日本」を実現するため、党派をこえて活動する自由な市民の団体です。現在の会員は約400名。会長平田慶肇、事務局石田賢二・早坂吉彦・井上由美・番場恵子・連絡先山崎健一(TEL0244-22-8631)。